

筑紫野市の市庁舎建設事業

基本設計を策定しました

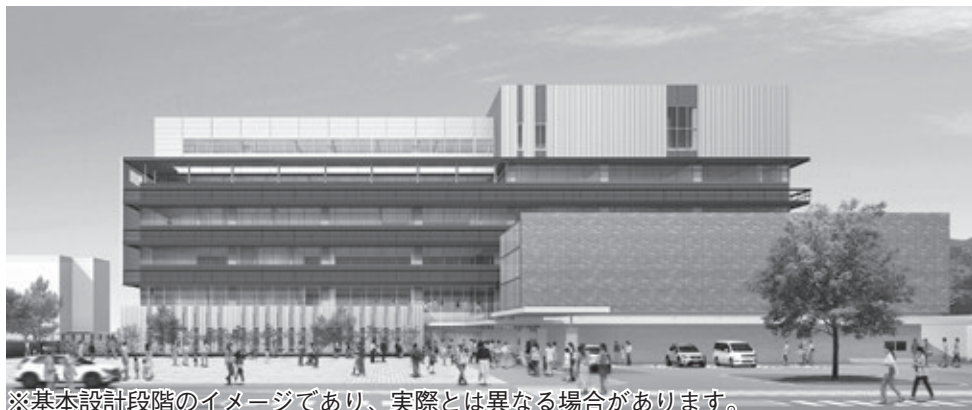
市では、「筑紫野市庁舎建設基本計画」

に基づき、平成28年9月に市庁舎建設設計・施工契約を締結し、設計業務を進めてきました。このたび、外観イメージや配置計画などをまとめた基本設計を作成しましたので、その概要をお知らせします。今後はより詳細な設計を行った後、平成30年11月の完成を目指し、建築工事に着手します。

● 問い合わせ先

戦略企画課

庁舎建設検討担当



※基本設計段階のイメージであり、実際とは異なる場合があります。

建築概要

- 所在地 筑紫野市石崎1丁目209番1外
- 敷地面積 14,613.74㎡
- 建築面積 約2,900㎡
- 延床面積 約14,000㎡
- 構造 S造（基礎免震構造）
- 階数 地上6階
- 最高高さ 約30m

目指すべき市庁舎の姿

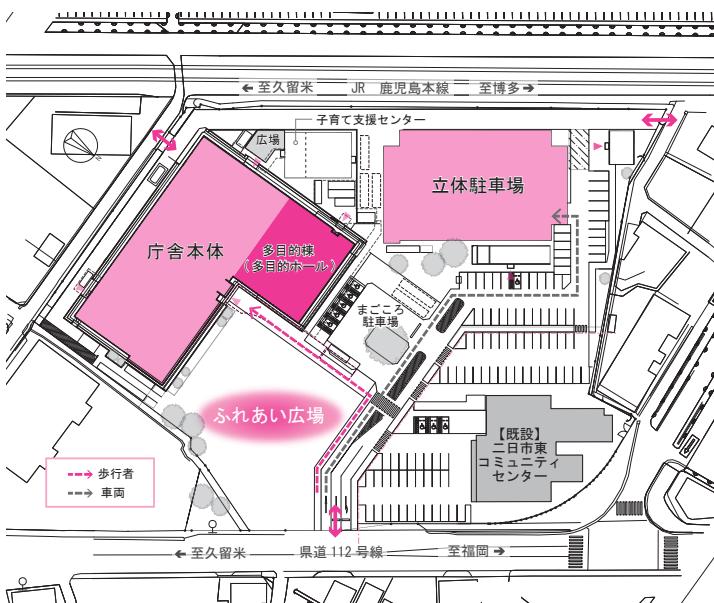
地域コミュニティの連携拠点、安全安心の防災拠点、行政サービスの拠点として、

市民が集える将来を見据えたコンパクトな庁舎

新たな市庁舎は地域コミュニティとの連携拠点としての役割、市民サービスの効率的な提供はもちろん、大規模災害時における業務継続、復旧・復興拠点としての機能が重要です。また、市民に親しまれ、将来の行政需要に柔軟に対応でき、議会機能が十分

に発揮されることも求められます。

これらのことから、「地域コミュニティの連携拠点、安全安心の防災拠点、行政サービスの拠点として、市民が集える将来を見据えたコンパクトな庁舎」づくりを目指します。



配置計画

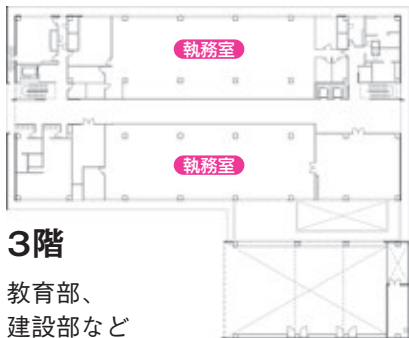
- ・さまざまな活用が可能な「ふれあい広場」を中心に建物を配置し、庁舎1階にはふれあい広場と一体利用が可能な多目的ホールを設けます。
- ・歩車分離を行うことで来庁者の安全性に配慮します。
- ・車の出入口を複数配置し、交通利便性を高めます。
- ・車椅子利用者等が優先的に利用可能な「まごころ駐車場」5台を入口近くに設置します。
- ・子育て支援センター正面に、親子でくつろげる広場を整備します。



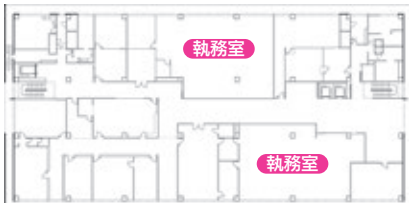
1階
市民生活部、健康福祉部など



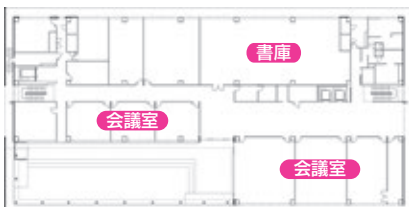
2階
環境経済部など



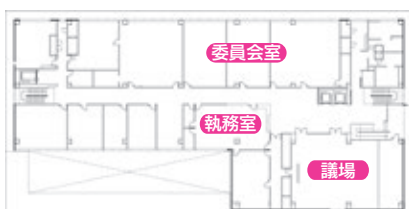
3階
教育部、建設部など



4階 企画政策部、総務部など



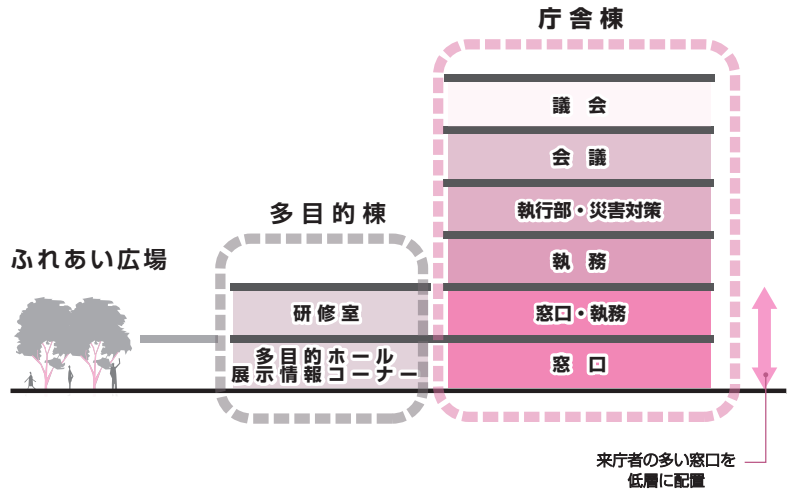
5階 会議室、書庫など



6階 議場、議会事務局

各階配置

市民の利便性に配慮した分かりやすい階層構成とします。



防災計画

安全安心な免震庁舎

- ・基礎免震構造を採用し、大地震発生時にも災害対策の拠点となる計画とします。
- ・上部構造は柱鋼管にコンクリートを詰めたCFT柱を採用し、剛性と耐力を高めます。

災害対策本部への迅速な機能転換

- ・ふれあい広場は災害時の支援物資受入や一時避難場所として活用します。
- ・防災会議室は、迅速に災害警戒・対策本部が設置できるよう、執務エリア、市長エリアと隣接し配置します。
- ・災害対応に必要な資材等を保管する備蓄倉庫を設置します。

自立インフラによるバックアップ

- ・非常用発電機、汚水槽、消火水槽、雑用水槽等の非常時バックアップ設備を設け、災害時にも業務継続、災害対策活動を実施できる計画とします。
- ・受水槽、非常用発電機、受電設備等は免震建物内に設置し、非常用インフラの自立化を徹底します。
- ・災害時、敷地内にマンホールトイレ(※)を設置できる計画とします。
※下水道管路にあるマンホールの上に設置する簡易なトイレ設備。

環境計画

環境にやさしく経済性の高い庁舎

- ・東西両端にトイレや機械室、階段など執務室以外の機能を配置し、建物外周には直射日光を遮る効果のあるバルコニーを設けるなど、日射負荷の抑制を図ります。
- ・自然換気・採光・通風を効果的に行い、太陽光エネルギーや井水・雨水の雑用水への再利用など自然再生可能エネルギーを活用した、環境共生型の庁舎となる計画とします。
- ・構造体と内装・設備を分離し、将来的な間仕切りの変更や設備更新に対応可能な計画とします。